

分かる快感!

Z会ナビ

算数

理科

社会

お題

規則正しいヒガンバナ

「Z会ナビ」が
Webサイト
でも読めます!

Z会おとナビ新聞

検索

これまでの内容も掲載しています!

秋の彼岸です。この時期になると、あちらこちらで赤いヒガンバナの花が咲きます。このヒガンバナ、どうやって彼岸の時期を知り、花を咲かせているのでしょうか。

- ① 温度で知る。
- ② 昼と夜の長さで知る。

秋の彼岸に咲くヒガンバナ

秋の彼岸とは、秋分の日の3日前から3日後までの7日間のことです。今年は9月23日が秋分の日なので、9月20日から9月26日までが秋の彼岸になります。そんな秋の彼岸に咲く花といえば、ヒガンバナですね。この時期になると、田んぼのあぜや川の土手、お墓の近くなどに赤い花が咲いているのをよく見かけます。このヒガンバナ、毎年決まって秋の彼岸のころに一斉に咲きます。カレンダーを見て季節を知ることができないヒガンバナですが、どうやって彼岸の時期を知り、花を咲かせているのでしょうか。

ヒガンバナってどんな植物?

ヒガンバナと聞いて、花の姿しか頭に浮かばない方は多いと思います。しかし、ヒガンバナもほかの植物と同じように、葉もあります。ヒガンバナの1年間を追ってみましょう。

秋の彼岸のころに花が咲いた後、花がしおれるころになると、地面から葉が出てきます。葉は冬の間も青々と茂りますが、翌年の5月ごろになると枯れて、地上には何もなくなります。しか



イラスト・瑞木匠

季節どう知る

し、地面の下には冬の間栄養を蓄えた球根が残ります。そして、次の秋の彼岸には、その球根の栄養を使って、また花が咲きます。

花が咲くのは秋の彼岸ですが、実は、もっと早くから花は作られ始めています。まだ葉が枯れる前に、地面の下で花のもとができ始めます。その花のもとは、夏の間じっくりと成長し、土の中の温度が下がってくる秋の彼岸のころになると、一斉に地面から伸びてきて、開花をします。球根があるのは土の中なので、ヒガンバナは、昼と夜の長さを知ることができません。秋になり、土の中の温度が下がってくることで花の咲く時期を知り、花を咲かせているのです(問題の

答えは①)。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、ヒガンバナも人も同じように、秋の彼岸になると涼しくなってきたな、と感じているのかもしれないね。

規則正しい植物たち

ヒガンバナのように、植物はそれぞれ、花の咲く時期が決まっています。ヒガンバナのように、温度で咲く時期が決まるものもあれば、昼と夜の長さで咲く時期が決まるものもあります。また、時期だけでなく、花の咲く時間帯が決まった植物もあります。そして、彼岸に咲くヒガンバナのように、花の咲く時期や時間帯から名前のつけられた植物もたくさんあります。一番有名な植物は、やはり朝に花が咲くアサガオ(朝顔)でしょうか。また、時刻を表す昔の言葉で、未の刻(午後2時ごろ)に花が咲くことから、ヒツジグサ(未草)と名前のつけられた植物もあります。風流な名前のつけられたマツヨイグサ(待宵草)やツキミノウ(月見草)は、もちろん夜に花が咲きます。花の咲く時期で名前がつけられた植物では、春に咲くハルジオン(春紫苑)なんか有名ですね。(Z会・鳥越賢)

! 今回の教訓

植物が規則正しく花を咲かせ続けられるような地球環境を守りたいですね。



鳥越賢さん 2010年Z会入社。小学生向けの理科の教材編集を担当。生き物が大好きで、妻と2人の娘とたくさんの生き物に囲まれて暮らす。山口生まれ広島育ち。